

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
事務事業名		生涯学習 課	安田一司	遠藤宏信
翠明湖マラソン大会事業		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あつたかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯スポーツの充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的的事业	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
翠明湖周辺を使った周回コース(7コース)のマラソン大会を開催し、多可町のアピールと住民の交流の場としている。		補助金の支給		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
		委託	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
実行委員・ボランティア・町民	一般、選手	多可町のアピールと住民の交流を図る

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>		会計名	一般	会計
細目名	保健体育一般事業	細目名		
予算コード	款 10 項 7 目 1 大 1	予算コード	款 項 目 大 事業	予算コード

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算(見込)	21年度 予定(当初)	22年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト		千円	12,787	10,413	10,480	
コストの内訳	直接事業費		5,666	5,807	5,807	
	所属内間接費					
	人件費	7,121	4,606	4,673		
投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.95	0.65	0.65	
財源内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源		2,666	3,107	3,107	
	一般財源		10,121	7,306	7,373	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 予定	22年度 目標	
1	翠明湖マラソン大会	新聞・雑誌への広告、他市のマラソン大会やイベントでの宣伝活動、前回までの参加者へ参加要請等を行う	マラソン参加者数	人	1265	1176	1000
2		大会来場者数	人	400	2000	2000	
3	翠明湖マラソン大会実行委員会	実行委員による検討会を行う	会議数	回	4	9	9
4							
5							

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [翠明湖マラソン大会事業]

6 事務事業の実績 <Do③>		20年度実績	21年度予定(見込)	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
参加者数	人	1,000	1,000	1000	参加者を1,000人程度に止める
来場者数	人	2,000	2,000	2000	

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)				担当の把握している課題	
チェック項目		該当項目に「○」					
必要性	需要への対応性	住民ニーズは	高い	○ 高くない		把握なし	
		緊急性は	高い	○ 高くない			
	利用者・対象者数は	○ 増加		減少		横ばい	
	他市町と比較して対象者に見直しの余地は	ない	○ ある			把握なし	
町の関与の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	ない	○ ある				
	国や県の事業(サービス)との重複は	○ ない		ある			
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	ない	○ ある			
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	ない	○ ある			
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	ない	○ ある		把握なし	
	連携の可能性	他課で類似の事業は	ない	○ ある			
他の事業と統合できる可能性は		○ ない		ある		あるが困難	
民間や他の行政機関と連携できる可能性は		○ ない		ある		あるが困難	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	ない	○ ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	ない	○ ある			
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	ない	○ ある			
		受益者負担を見直す余地は	ない	○ ある			
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで	○ ある		ない		
		前年より成果が上がって	○ いる		いない		横ばい
	持続の可能性	継続することによる効果は	高い	○ 高くない			
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	いる	○ いない			測定困難
市場化の可能性	既に全部委託済	更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○ 委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある			市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		1.改善の余地はない		2.改善の余地がややある			
		3.改善の余地が多い		○ 4.抜本的な見直しが必要			

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 翠明湖マラソン大会事業

職場からの意見(担当者)									
<p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>町外からの参加者が非常に多いが、反対に町内参加者が少ないのが現状である。運営方法の見直しが必要である。</p>									
担当課長評価									
<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>年々参加者が増えているが、地元の参加者が非常に少ない。ボランティアも多く参加していただいているが、費用対効果を考えれば、今後の運営(規模縮小)について協議しなければならない。</p> <p>定住自立圏構想の中で、西脇市と類似するへそマラソン等との調整の可能性はないか。</p>									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討	○	6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		内部評価	3
教育長評価									
<p>(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>このマラソンを抜本的に見直しが必要であるとする。</p>									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		○	5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了		
評価委員コメント									
<p>運営や開催について再考を要す。</p>									